

読書のすすめ

土岐市図書館
☎1253

テーマ

食べるエッセイ

毎日の食事や料理。食べることは誰にとっても身近なテーマです。自分好みの食事をとことん追求する方もいれば、食事への興味が少ない方もいます。多種多様な生活の中で、食事はどんな風景を作っているのでしょうか。



椎名誠『カツ丼わしづかみ食いの法則』

ある日、著者は食堂で相席になった「おっさん」が一時も丼を手から離さず、「がしがし」と食べている様を目にします。そのほればれするような丼と箸の連続技は、獲物を狙う猛禽類のようだと思感します。そんなユーモアあふれるエッセイです。



穂村弘『君がいない夜のごはん』

子どものころ、初めて口にされたバニラシェイクやグレープフルーツに感動したエピソードや、「お皿の裏も洗うんだよ」と教えられ慌てる話、なぜかつぶれないラーメン屋の不思議や、電子レンジに感じる奇異など、歌人の繊細な感性で食の世界が近づられています。



片岡義男『洋食屋から歩いて5分』

「偶然にお会いするのは、今が初めてね」と見覚えのない女性に駅で声を掛けられた著者。実は彼女は著者が20年前通っていた喫茶店の元ウエイトレスでした。2人は本を購入するため手を繋いで書店に行きます。食に関するお話が、美しく穏やかに描かれた一冊です。

私のお気に入りの本です。皆さんもぜひ読んでみてください。



私がこの本のとても好きなところは、子犬のきららが大人になるまでの成長が細かく書かれているところです。また、きららはお母さんがいなくても、その家にいた犬の未来姉ちゃんのおかげでどんどん成長していく姿にとっても感動しました。

私が紹介する本は、『子犬のきららと捨て犬・未来』という実話本です。私がこの本を読もうと思ったきっかけは、動物が好きなことと、いつか犬を飼いたいという夢があったからです。寒い秋の朝、生まれて間もない、まだお母さんのおっぱいを飲んでる子犬のきららと、お母さんと兄弟のマルと一緒に捨てられてしまいました。そして、きららたちは捨て犬としてつかまえられ、暗い部屋に閉じ込められてしまいます。でも、きららはお母さんとの約束を守り人間のお家へ引き取られることになりました。

寄稿者募集
おすすめの1冊
教えてください



とき読書っこクラブ
土岐津小学校5年
西野 色華さん

私の一冊

今西 乃子 / 著 浜田 一男 / 写真
子犬のきららと捨て犬・未来

4月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館時間
▶火～金曜日
10:00～19:00
▶土・日曜日、祝日
10:00～17:00
※変更があった場合は、図書館HPやTwitterでお知らせします

お知らせ

清流の国ぎふ・図書館スタンプラリー2022

スタンプラリーをしながら、県内の図書館を巡ってみませんか。

期間：3月15日(火)～5月15日(日)

参加方法：県内の図書館でリーフレットをもらってスタンプを集めます。ゴールの図書館でオリジナルグッズがもらえます。(先着・数量限定)

※スタンプを押す条件などの詳細は、リーフレットなどで確認してください。